

ピアホームだより

2013. 2. 10

外出レクレーション

—雑司ヶ谷気七福神巡り—

障害者は目標も定めにくく、単調でハリのない生活になりがちです。私達は、何よりも毎日の生活を楽しめることが大切です。

娘の病気以来、やっと地域に目を向けることが出来るようになり、季節の移り変わりにも関心が持てるようになって来ました。そんな心の余裕が持てるようになった頃、お正月に都内の様々な七福神巡りをしました。

喧騒な大通りを一歩中に入ると、江戸の風景も見えて来ます。地図を片手に、どこそこの場所を見つけるのも一興。移りゆく景色はとっても脳を刺激します。そして、東京(江戸)の街を知って、住むことの親しみが湧いてくるのです。

こんな思いを、利用者とも共有しようと思

いで、これまでで一番気に入った雑司ヶ谷七福神巡りを企画しました。雑司ヶ谷七福神は池袋西武口付近から雑司ヶ谷鬼子母神を中心に霊園に至る約1.5kmのこじんまりとしたエリアにあります。

さて、今回はKDDIの門田さんがボランティアとして参加して下さい、すごく華やぎました。ピアⅡから〇山さんも参加、ピアⅠ利用者、職員で合わせて総勢8名の所帯。どうも、お墓参りのように感じた面々もあり、果たして思惑通り楽しめたのやら？

霊園では、私の好きな郷里の作家、泉鏡花の墓を再確認にして大喜び、しかし、往年の東映大スター「大川橋蔵」を知る人もいず、年代差を感じるばかり——。夏目漱石の比較的大きな墓を見つけ、やっと皆との共通会話がありました。

でも、〇六さんは、「連れて来てくれてありがとうございました。」と丁寧なお礼。嬉しいですね！普段、行かない所を散歩するだけでも良くありませんか？

リトル・ピア移転計画の状況

不動産会社「すまいる」さんから、紹介の物

件は、一端、ごわさんになりました。

この間、都・区に補助金制度を相談し、使いにくさを痛感しました。2~3年を見据えて、GHの建替、リトルハウス移転を考えていきたいと思っています。

現在の構想:西台~高島平でGH建設、旧ピアホームⅡは取り壊し新建物に移転。ピアホームⅡ跡地にリトルハウス建設を考えています。

<COPINGとは>

COPING(対処)とは、(遺伝的、発達の要因による)脆弱性を持つ精神障害者が、環境上のストレスに直面したときに、再発を防止する過程とされます。即ち、環境上のストレスや難局を克服するためにする努力過程です。これは、個人の社会生活技能に依存しているので、その技能を高めるための心理社会的な介入が行われます。SSTなどその技法体系であり、当所の話し合い経験交流もそれを狙いとしているところです。

2月の行事

<2月16日>はすね会講演会

<2月23日>ボーリング大会